

市政のそこば聞きたか!!

一般質問

9月定例会で17人が古川市政を

問う!



掲載している内容は、9月7日から9月10日に行われた市政一般質問の要旨です。詳しい内容については会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局、情報公開室のほか市内各公民館や図書館でもご覧いただけます。

市議会ホームページでは、会議録の閲覧や検索、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。

島原市議会ホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>

Q 地方創生のためには地場産業の育成が重要だと考える。地元農水産物を活用した二次加工を推進し、自立した産業の育成が必要だと思うがどうか。

A 農産物については付加価値向上のために地元業者とのマッチングや必要な支援を進めていく。水産物についてはすでに一夜干しや塩わかめなどの加工が行われており、今後も漁協と連携して取り組んでいく。自立を促し、やる気のある産業や団体等の支援を続けていきたい。

Q 創生推進会議に対する市長の姿勢はどうか。また、国土交通省から派遣された理事の位置づけは。

A 本年をしまばらふるさと創生元年と位置づけ、地域の特色を生かした施策を実行し、市民の希望や夢が叶えられるよう取り組んでいきたい。国の地方創生人材支援制度を活用し、国土交通省から部長級として塩野氏を市長公室理事に迎え、しまばらふるさと創生本部長として地方創生を初めとする様々な分野に携わっていただく。

▼島原市まち・ひと・しごと創生推進会議について



平成会
馬場 勝郎
議員

Q 指定野菜価格安定対策事業は農家に大変喜ばれているが、本市における対象品目数と負担金の割合はどうなっているのか。

A 本市の主要作物である人参、大根、白菜、イチゴ、スイカなどの十三品目が指定されている。負担割合は国が六十%、県が二十%、J A 県本部が三%、市が五%で、残りの十二%が生産者負担となっている。

▼地域高規格道路「島原道路」について

Q 出平―有明間については一部ルート帯が変更され、測量同意の地元説明会を開催されたということだが、その先の有明―吾妻間についてはどのような状況なのか。

A 十五キロメートルの区間であり、昨年九月から地域住民へのアンケートや意見交換会などが開催されている。今年二月に開催された島原半島地域の交通機能強化検討委員会では、現在の広域農道をおおむねのルート帯とし、吾妻側から整備を行うことが望ましいとの提言がなされ、インターチェンジは国道と主な県道などと交差する四カ所の案が示されている。

【その他の質問項目】

◇庁舎建設の進捗と今後のスケジュール

◇現況の空き家対策について